主語を 見つけよう

やさしい ★☆☆ ・ 主語を 見つける

文 ぶんぽう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1

主語（「何が・何は」「だれが・だれは」にあたる言葉）の下の○に○を書こう。

1 犬が○ほえる。○

2 花が○きれいだ。○

3 ぼくは○三年生だ。○

4 赤い○車が○走る。○

5 きのう○妹が○歌った。○

6 空に○白い○雲が○うかぶ。○

7 公園で○子どもたちが○遊ぶ。○

8 わたしも○本を○読む。○



ヒント

「何が（は）」「だれが（は）」に あたる 言葉が 主語だよ。
「〜も」の 形の ときも あるよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ぶんぽう ・ つぎは 「じゅつ語を 見つけよう」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
ぶんぽう

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-54

じゅつ語を 見つけよう

やさしい ★☆☆ ・ じゅつ語を 見つける

文の さいごに ちゅうもく



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1

じゅつ語（「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある」に あたる 言葉）の 下の ○に ○を 書こう。

1 鳥が○とぶ。○

2 海は○広い。○

3 これは○わたしの○本です。○

4 弟が○公園で○走る。○

5 夜空の○星が○きれいだ。○

6 庭に○大きな○木が○ある。○

7 山の○上は○とても○寒い。○

8 父は○学校の○先生だ。○



ヒント

じゅつ語は、たいてい 文の さいごに あるよ。「どうする・どんなだ・何だ」を あらわして いるよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ぶんぽう ・ つぎは 「主語と じゅつ語」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
ぶんぽう

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-55

主語と じゅつ語

ふつう ★★☆ ・ 主語と じゅつ語を 組に する

まず じゅつ語を 見つけよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿＿ がつ ＿＿＿＿ にち

1

主語の 下の ○に ○、じゅつ語の 下の ○に △を 書こう。

1 小さな○ねこが○木の○上で○ねている。○

2 弟も○朝○早く○起きた。○

3 青い○空に○白い○鳥が○とんでいく。○

4 図書館の○本は○とても○おもしろい。○

5 校庭の○すみに○黄色い○花が○さいた。○

6 兄の○しゅみは○魚つりだ。○

7 先生が○黒板に○大きな○字を○書いた。○



ヒント

先に 文の さいごの じゅつ語を 見つけて、「何が（だれが）その じゅつ語なのか」と 考えると 主語が 見つかるよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ぶんぽう ・ つぎは 「くわしくする 言葉」

こたえは ここ

つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
ぶんぽう

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-56

くわしくする 言葉

やさしい ★☆☆ ・ くわしくする 言葉を 見つける

問いを よく 読もう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1

問いの 答えに なる 言葉の 下の ○に ○を 書こう。

1 どんな 花？ 赤い○花が○さく。○

2 どんな 犬？ 大きな○犬が○ほえる。○

3 どのように 歩く？ 弟が○ゆっくり○歩く。○

4 何を 食べる？ 妹が○りんごを○食べる。○

5 どこで 遊ぶ？ 公園で○子どもが○遊ぶ。○

6 どんな ぼうし？ 母が○白い○ぼうしを○かぶる。○

7 どこで 読む？ ぼくは○図書館で○本を○読む。○

8 だれを 待つ？ 姉が○駅で○友だちを○待つ。○



ヒント

主語と じゅつ語の ほかに、「どんな・何を・どこで」を くわしく する 言葉が あるよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ぶんぽう ・ つぎは 「どの 言葉を くわしく？」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
ぶんぽう

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-57

どの 言葉を くわしく？

ふつう ★★☆ ・ かかる 言葉を 見つける

つなげて
読んでみよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1

線を 引いた 言葉は、どの 言葉を くわしく して いるかな。その 言葉の 下の ○に ○を 書こう。

1 白い｜○雲が○うかぶ。○

2 ねこが○すやすや｜○ねむる。○

3 兄が○大きな｜○声で○歌う。○

4 きのう○ぼくは○公園へ○行った。○

5 妹が○かわいい｜○人形を○買った。○

6 小さな○魚が○川で○およぐ。○

7 父が○新しい｜○車を○買った。○

8 かめが○ゆっくり｜○歩く。○



ヒント

線の 言葉と つなげて 読んでみよう。「青い 空」「ぐっすり ねる」のように、意味が 通じる 組み合わせを さがそう。

できたら
はなまる

つぎまる プリント

ぶんぽう ・ つぎは 「合う くわしくする 言葉」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-58

合う くわしくする 言葉

むずかしい ★★★ ・ 合う 言葉を えらぶ ・ 1まいめ

入れて 読んで みよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1

（ ）に 合う 言葉を えらんで、記号に ○を つけよう。

1 これは（ ）本だ。

㋐ おもしろく ㋑ おもしろい ㋒ おもしろさ

2 ねこが（ ）ねている。

㋐ 赤い ㋑ ぐっすり ㋒ 大きな

3 （ ）犬が 走る。

㋐ 白い ㋑ 白く ㋒ 白さ

4 かめが（ ）歩く。

㋐ ゆっくりな ㋑ ゆっくり ㋒ ゆっくりの

できたら はなまる

つぎまる プリント

ぶんぽう ・ つぎは 「こそあど言葉の 表」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-58

合う くわしくする 言葉

むずかしい ★★★ ・ 合う 言葉を えらぶ ・ 2まいめ

入れて 読んで みよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

5 空が（　）なる。

(ア) 暗さ (イ) 暗い
(ウ) 暗く

6 （　）声で 話す。

(ア) 小さな (イ) 小ささ
(ウ) 小さく

7 花が（　）さいて いる。

(ア) きれいな
(イ) きれいさ
(ウ) きれいに

8 とても（　）山だ。

(ア) 高い (イ) 高さ
(ウ) 高く



ヒント

（　）に 1つずつ 入れて、声に 出して 読んでみよう。いちばん しぜんに 聞こえる ものが 答えだよ。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ぶんぽう ・ つぎは 「こそあど言葉の 表」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
ぶんぽう

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-59

こそあど言葉の 表

やさしい ★☆☆ ・ こそあど言葉を 表に する

こ・そ・あ・どの ちがいを 見よう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 表の あいて いる ところに、下の 箱の 言葉を 書こう。

	こ（近い）	そ（相手に 近い）	あ（遠い）	ど（わからない）
もの	これ			どれ
場所		そこ		どこ
方こう	こちら		あちら	
ものの 前に つける		その	あの	
ようす	こんな			どんな

それ　この　あんな　あれ　ここ　あそこ　どちら　そちら
そんな　どの

2 （　）に 合う 言葉を えらぼう。

1 （自分の 手の 中の えんぴつを 見せて）「（　）は わたしの えんぴつです。」

◯ア それ ◯イ どれ ◯ウ これ

2 （友だちが 持って いる 本を 見て）「（　）本、おもしろい？」

◯ア あの ◯イ この ◯ウ その

書体: Klee One（SIL Open Font License）

こそあど言葉の 使い分け

ふつう ★★☆ ・ こそあど言葉の 使い分け ・ 1まいめ

文 ぶんぽう

どこに あるか 考えよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 （　）に 合う 言葉を えらぼう。

1 （相手が 持って いる ペンを 見て）「（　）は だれの ペン？」

ア あれ　イ それ　ウ これ

2 （遠くの 山を 指さして）「（　）が ふじ山だよ。」

ア これ　イ それ　ウ あれ

3 （道が わからなくて）「駅は （　）ですか。」

ア そこ　イ ここ　ウ どこ

4 （自分の 家の 前で）「（　）が ぼくの 家です。」

ア そこ　イ あそこ　ウ ここ

できたら はなまる

つぎまる プリント

ぶんぽう ・ つぎは 「こそあど言葉が さす もの」

こたえは ここ

つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-60

こそあど言葉の 使い分け

ふつう ★★☆ ・ こそあど言葉の 使い分け ・ 2まいめ

どこに あるか 考えよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

5 （相手の そばの かばんを 見て）「（　）かばん、かわいいね。」

㋐ その ㋑ どの ㋒ この

6 （遠くを 走る 電車を 見て）「（　）電車に 乗りたいな。」

㋐ あの ㋑ その ㋒ この

7 （どれに するか 聞いて）「（　）色が すき？」

㋐ どの ㋑ この ㋒ あの

8 （自分の 前の 絵を 見せて）「（　）絵は わたしが かいたよ。」

㋐ この ㋑ あの ㋒ その



ヒント

自分に 近い ものは「こ」、相手に 近い ものは「そ」、どちらからも 遠い ものは「あ」、わからない ものは「ど」だよ。

できたら はなまる

こたえは ここ つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
ぶんぽう

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-61

こそあど言葉が さす もの

むずかしい ★★★ ・ こそあど言葉が さす もの ・ 1まいめ

前の 文に
もどって みよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿がつ ＿＿にち

1

文を 読んで、線の 言葉が さす ものを えらぼう。

1 公園に 大きな 木が ある。その 木の 下で 本を 読んだ。

㋐ 学校の 小さな 木
㋑ 公園に ある 大きな 木
㋒ 家の 庭の 木

2 母が ケーキを 作った。それは とても あまかった。

㋐ 母 ㋑ 母が 作った ケーキ
㋒ あまい おかし ぜんぶ

3 駅の 前に 本屋が ある。わたしは よく そこへ 行く。

㋐ 駅 ㋑ 駅の 前の 本屋
㋒ わたしの 家

できたら はなまる

つぎまる プリント

ぶんぽう ・ つぎは 「つなぎ言葉 だから・でも」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-61

こそあど言葉が さす もの

むずかしい ★★★ ・ こそあど言葉が さす もの ・ 2まいめ

前の 文に
もどって みよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

4 弟が 青い 自転車を 買って もらった。弟は 毎日 それに 乗って いる。

㋐ バス
㋑ 弟の 赤い 自転車
㋒ 弟の 青い 自転車

5 川で 小さな 魚を つかまえた。これを 水そうで かう ことに した。

㋐ 水そう
㋑ 川
㋒ 川で つかまえた 小さな 魚

6 「あの 白い たての は 何？」「あれは 図書館だよ。」

㋐ あの 白い たての
㋑ 図書館の 本
㋒ 白い 雲



ヒント

こそあど言葉の 前の 文を 読もう。見つけた 言葉を こそあど言葉の 所に 入れて 読むと、意味が 通じるよ。

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
ぶんぽう

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-62

つなぎ言葉 だから・でも

やさしい ★☆☆ ・ だから と でも ・ 1まいめ

前と 後を
くらべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 （　）に 入る つなぎ言葉を えらぼう。

1 雨が ふった。（　）、遠足は 中止に なった。
㋐でも ㋑だから

2 雨が ふった。（　）、サッカーを した。
㋐だから ㋑でも

3 毎日 練習した。（　）、リレーで 一等に なった。
㋐だから ㋑でも

4 いっしょうけんめい 走った。（　）、バスに 間に合わなかった。
㋐でも ㋑だから

できたら はなまる

つぎまる プリント

ぶんぽう ・ つぎは 「いろいろな つなぎ言葉」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
ぶんぽう

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-62

つなぎ言葉 だから・でも

やさしい ★☆☆ ・ だから と でも ・ 2まいめ

前と 後を
くらべよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

5 おなかが すいた。（　）、パンを 食べた。

㋐ だから　㋑ でも

6 薬を 飲んだ。（　）、ねつが 下がらない。

㋐ でも　㋑ だから

7 外は 寒い。（　）、コートを 着て 出かけた。

㋐ でも　㋑ だから

8 この 本は あつい。（　）、すぐに 読み終わった。

㋐ でも　㋑ だから



ヒント

前の 文から ふつうに 考えて そう なる ときは「だから」、反対の ことに なる ときは「でも」を 使うよ。

できたら
はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
ぶんぽう

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-63

いろいろな つなぎ言葉

ふつう ★★☆ ・ つなぎ言葉を 使い分ける

つながり方を 考えよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1

（ ）に 入る つなぎ言葉を、箱から えらんで 書こう。

それから　または
なぜなら　しかし

1 顔を あらった。（ ）、歯を みがいた。

2 赤（ ）青の ペンで 書いて ください。

3 今日は 早く ねる。（ ）、あしたは 遠足だからだ。

4 天気よほうは 雨だった。（ ）、一日中 晴れた。

5 公園で 遊んだ。（ ）、家に 帰った。

6 電車（ ）バスで 来て ください。

7 かさを 持って いく。（ ）、午後から 雨が ふるからだ。

8 たくさん 練習した。（ ）、まだ 上手に ならない。



ヒント

「それから」は じゅんに つづく とき、「または」は どちらか 1つ、「なぜなら」は わけを 言う とき、「しかし」は 反対の ことが 来る ときだよ。

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

文
ぶんぽう

しょうがく3ねんせい ・ こくご ・ k3-64

つなぎ言葉で 文を つなごう

むずかしい ★★★ ・ つなぎ言葉で つなぐ

2つの 文を つなげよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ひづけ ＿＿ がつ ＿＿ にち

1 （ ）の つなぎ言葉を 使って、2つの 文を つないで 書こう。

1 雨が ふって きた。／かさを さした。（だから）

2 走って 駅へ 行った。／電車は 出た あとだった。（でも）

3 手を あらった。／おやつを 食べた。（それから）

4 姉は 歌が 上手だ。／ピアノも ひける。（それに）

5 かぜを ひいた。／学校を 休んだ。（だから）

6 ぼくは 犬が すきだ。／ねこは にがてだ。（でも）



ヒント

1つ目の 文の 後に「。」、次に つなぎ言葉と「、」、それから 2つ目の 文を 書くよ。

できたら はなまる

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）